

裁判例からみた「商標ライセンス契約」の 紛争事例と対応策

難易度
中級

～最新の裁判例を分析し、商標ライセンス契約をめぐる諸問題とその対応策について解説します～

2019年5月30日(木) 10:00～17:00

講師 青木 博通 氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士



- ◆商標の財産的価値を活用するために、商標ライセンスが活発に活用され、また、インターネットの普及によるバーチャルなマーケットの出現により、新たな商標ライセンス契約の実務上の問題も顕在化してきました。
- ◆大型商標ライセンス契約の終了後の問題(商標の変更等)やライセンシーの管理に不備があったため登録商標が取り消される事案も顕在化しております。
- ◆そこで、今回のセミナーでは、最新の裁判例を分析することにより、商標ライセンス契約をめぐる諸問題とその対応策について解説いたします。

<解説内容>

- | | | |
|-----------------------------|--|--------------------------------------|
| I 商標ライセンスの基礎知識 | 6. 和解条項と不正使用取消審判 | 19. ライセンシーの不正使用で年間280億円の売上が喪失した事件 |
| 1. 歴史的考察 | 7. 商標権の譲渡担保とライセンス料の取り扱い | 20. その他 |
| 2. 商標ライセンスとは | 8. 再許諾契約と債務不履行責任 | III 商標使用マニュアル |
| 3. 商標ライセンスの目的と種類 | 9. 商標ライセンスと世界的紛争 | 1. 商標使用マニュアルの目的と構成 |
| 4. 統計からみた商標ライセンスの実態 | 10. 裁判例に表れたライセンス料相当額(33%から0.5%) | 2. 商標使用マニュアルと商標法との関係(普通名称化・不使用・不正使用) |
| 5. 商標法上のライセンスに関する規定 | 11. 偽ブランド品の商品売買契約と民法90条 | 3. 他社マニュアルの分析 |
| 6. 特許ライセンスと商標ライセンスの違い | 12. 著作権管理者の差止請求権 | IV 商標ライセンスと独禁法 |
| 7. 商標ライセンスの基本項目と注意点 | 13. マーケティング共同契約と真正商品の並行輸入 | V 商標ライセンスと製造物責任 |
| II 商標ライセンスをめぐる諸問題と対応策 | 14. インターネットと商標ライセンス契約(国境越え、メタタグ、キーワードバイ) | VI 商標ライセンスと破産法 |
| 1. 商標の普通名称化・希釈化防止のライセンス | 15. 大型商標ライセンス契約の終了とその後 | VII 諸外国の状況 |
| 2. ライセンス契約の終了と登録商標・出願商標の帰属 | 16. 黙示の使用許諾 | 1. 米国(Naked Licenseと権利放棄) |
| 3. 独占的通常使用権を巡るトラブル | 17. アサインバックとライセンス | 2. 中国 |
| 4. ライセンス契約不存在、OEM契約と不使用取消審判 | 18. 商標ライセンスと商標法4条1項11号 | 3. 欧州 |
| 5. ライセンシーの不正使用と不正使用取消審判 | | |

◇弁理士の皆様へ この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本講座を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5.5単位が認められる予定です。

◇本講座は、企業や法律・特許事務所における実務経験2年～5年の方々にとって、最適な講座です。

◆日時 2019年5月30日(木) 10:00～17:00

◆会場 虎ノ門三丁目ビルディング1階 研修室 (東京都港区虎ノ門3丁目1-1)

◆定員 40名

◆講師 青木 博通 氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士

◆受講料 会員16,500円・一般19,000円(※消費税8%込み)

◆申込 FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp「知財 ist 研修・スポット講座他」)